

# 『樹上の葉 樹上の花』

**発売 2020年  
4月上旬！  
発売**

曹文軒◎著 水野衛子◎訳

【読者：中学生から大人まで】

◎中国人初の国際アンデルセン賞受賞作家・曹文軒が水郷地帯の中学校を舞台に、力強く成長していく少年少女を詩情豊かに描く！

◎本邦初訳！ 原題「<sup>シーミー</sup>細米」

—中国は文化革命時代、大河のほとりにある村に下放された青年の梅紋<sup>メイウェン</sup>。村の少年細米<sup>シーミー</sup>と、その仲間たち、両親、先生たちとの出会い。梅紋は、腕白だが感受性豊かな細米の彫刻への才能にいち早く気づき伸ばそうとする。細米は自分を理解してくれる彼女へいちずな思いを抱き、そこから様々な冒険や事件が繰り広げられていく。

時代の奔流に巻き込まれ、厳しい環境の中、教師となった梅紋と細米と村の子供たちは、様々な困難に向き合いながらも、過酷な運命に立ち向かい力強く成長しあう姿を描き出す。

**著者紹介 曹文軒** (ツアオ・ウェンシュエン Cao Wenxuan)

1954年江蘇省塩城市生まれ。作家。北京大学教授。過酷な運命に立ち向かう強い少年像を創り出し、「児童文学は文学である」と主張、1980年代中国児童文学の騎手として活躍。代表作『草房子』は『草ぶきの学校』として映画化。邦訳に『とおくまで』『風のぼうけん』(以上樹立社)『サンサン』(てらいんく)『よあけまで』(童心社)『はね』(マイティブック)などがある。2016年国際アンデルセン賞作家賞受賞。

**訳者紹介 水野衛子** (みずのえいこ)

慶應義塾大学文学部中国文学専攻卒。中国映画字幕・中国文学翻訳者。翻訳映画作品に『初恋のきた道』『北京ヴァイオリン』『故郷の香り』『草ぶきの学校』ほか多数。訳書に小説『盗みは人のためならず』(彩流社)、『中国大女優恋の自白録』(文藝春秋)、学術書『魅惑の漢字』(樹立社)など。



**定価：本体 1,600 円 + 税**

ISBN 978-4-901769-93-8  
372 頁 B6 判 C8097

**2020年4月上旬発売**

注文書		 <b>樹立社</b> FAX : 03-6261-7897 <b>【新刊委託】</b>	
各	『樹上の葉 樹上の花』	曹文軒◎著 水野衛子◎訳 定価：本体 1,600 円 + 税 372 頁 B6 判 C8097	
部	ISBN 978-4-901769-93-8		